

科目名: 経営戦略 実践論		科目コード	EB65
科目主査: 平田 譲二		単位	4
担当講師: 平田 譲二		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>本科目では、利潤追求活動の指針となる経営戦略概念全般を学んでいきます。扱う戦略概念は、成長戦略から競争戦略、組織による戦略の実行、そして戦略を実行する組織の特性やその具体的事例までも様々に言及します。</p> <p>テキストでは、学ぶべき理論や概念の内容が単に説明されるだけでなく、その理論や概念の有効性の論理的根拠にまでさかのぼって説明されます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	特にはありません。テキスト全般を一度読んで上で、質問をたくさん準備して授業に臨んで下さい。		
テキスト	『使える！経営戦略111』平田 譲二,中央経済社,2013年		
この科目の 到達目標	①企業の活動を戦略の観点から理解でき、戦略概念を利用してその活動ポイントを説明できる。 ②企業の活動実態から、当該企業がどのような論理に基づいて戦略を構築・実行しているかが判断できる。		
成績評価 の方法	初日の課題と最終試験の双方を評価します。		
事後学習	自分の仕事環境において、どのような戦略展開が行われているのかを理解し、その優劣を判断し、改善に向かって多少なりとも行動につなげてみましょう。		
事後学習の 参考文献	『経営戦略の論理 第4版』伊丹 敬之,日本経済新聞出版社,2012年 『ザ・会社改造』三枝 匡,日経ビジネス人文庫,2019年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			